

重点課題の取組状況等について

圏域名	東胆振
-----	-----

重点課題	① 医療機関における役割・機能の分担と連携 ② 医療機関と介護サービス・在宅医療との連携体制の構築 ③ 公立病院における2024年度以降の取組方針
------	---

【概 要】

○ 東胆振圏域においては、上記3項目を重点課題として設定し、次の事項に留意しながら取組を進めている。

① 令和4年意向調査における稼働病床数は、2025年の必要病床数と比較して急性期が526床多く回復期が499床少なかったことから、引き続き、医療機関の役割・機能分担、連携について、定期的に協議し情報共有を図っていく必要がある。

② 各病院の病床利用率が高い(70.29%)ことから、地域における医療需要や住民ニーズを勘案しながら、介護サービスや在宅医療との連携体制の構築を進めるなど、医療提供体制の充実を図る必要がある。

なお、現在、保健所と苫小牧市等が連携し、「入退院支援に係る医療と介護の連携」に係るガイドラインやマニュアルの作成に向け、病院関係者や介護保険関係者等を構成員とするワーキンググループにおいて、検討・協議を進めているところである。

③ 3つの公立病院（苫小牧市立病院、白老町国民健康保険病院及びむかわ厚生病院）が地域で大きな役割を担っており、令和6年（2024年）3月に策定された公立病院改革プランとの整合性を図りながら、地域医療構想を推進する必要がある

【主な検討経過】

- 令和5年3月（2023年） 東胆振地域医療構想調整会議病院会
 - ・新型コロナウイルス感染症5類移行後の受け入れ体制等の検討
 - ・重点課題の進捗状況と取り組み状況の共有
- 令和5年8月（2023年） 東胆振地域医療構想調整会議
 - ・紹介受診重点医療機関の協議の場
 - ・医療機器共同使用に係る情報共有
- 令和6年1月（2024年） 東胆振地域医療構想調整会議
 - ・各計画（北海道医療計画・北海道高齢者保健福祉計画・介

護保険事業支援計画・北海道感染症予防計画）協議

・公立病院経営強化プラン（苫小牧市立病院・白老町国民健康保険病院・むかわ厚生病院）協議

【今後の課題・取組予定など】

- 医療機能の分担・連携、介護サービスや在宅医療との連携体制の構築等の課題が継続していることから、引き続き協議を行う。
- 新たな地域医療構想に関する国や道の動きについて情報共有を行う。

【参 考】